

H46b SU UMa 型矮新星 1RXPJ113123+4322.5 の superhump の検出及び周期解析

小泉充男、田邊健茲、田口泰基、西祐一、山田典美、今井優二、大山裕子、近藤明子、谷之口涼子、橋本靖之（岡山理科大総合情報）、加藤太一 他（京大理）、他 VSNET Collaboration Team

我々は、2003年3月に superoutburst を起こした 1RXPJ113123+4322.5 について岡山理科大学 21号館屋上の天文台の 21cm カセグレインを用いて連続測光観測を行った。この結果、顕著な superhump が見られ、この周期を求めたところ $0.06635(\pm 0.0013)$ 日となり、典型的な SU UMa 型の矮新星であることが確認できた。superhump の周期に関しては、plateau phase 中に長くなっていくことが確認されたが、plateau phase からの減光時には短くなっていくことが確認できた。superhump はその末期に周期が短くなっていく状態になり、これを late state と呼び、通常の状態を common state と呼ぶが、ここで見られた周期の変化はこの superhump の二つの状態を反映しているものと考えられる。

1RXPJ113212+4322.5 は 2004年3月にも superoutburst が検出された。この時も顕著な superhump が得られたため、併せて報告する。